

「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的

・収入 123億5,267万円

・支出 122億3,463万円

●資本的

・収入 9億7,104万円

・支出 13億2,585万円

◇収益的収支が7年連続の黒字！

総合入院体制加算の取得等の収益確保や、光熱水費の減少、薬品の価格交渉による費用の削減に努めた結果、収支状況は約1億1,804万円の黒字となりました。

水道事業

●収益的

・収入 23億892万円

・支出 20億6,192万円

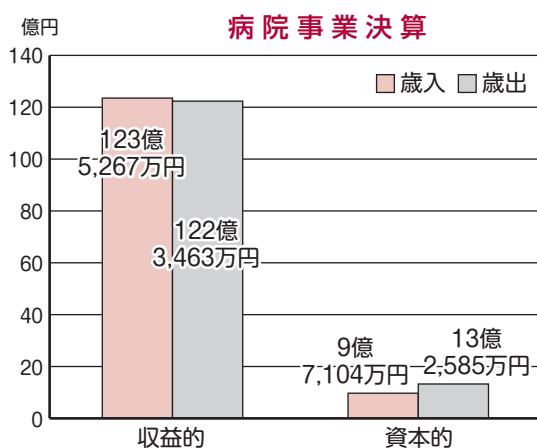
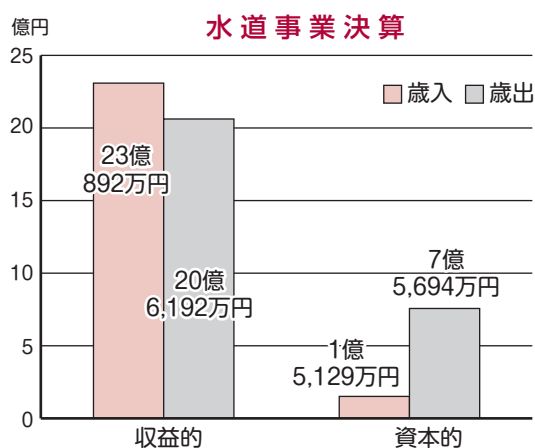
●資本的

・収入 1億5,129万円

・支出 7億5,694万円

◇収益的収支が14年連続の黒字

節水型機器の普及などにより水道料金収益は減少したものの、会計制度改正による非現金収入等により全体の収益は増となり、2億4,700万円の黒字となりました。



半田市の財政を家計にたとえてみると

1か月の支出43万6千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)などに加え、ローン(市債)も利用し、45万2千円の収入がありました。

これからは家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、生活費(人件費、物件費など)を切り詰めるとともに、できるだけ貯金(基金)を増やすことや新たなローン(市債)の借り入れを考えなくてはなりません。

はんだ家1か月の家計簿

※( )は予算上の項目です。

収入		支出	
月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	30万6千円	家族の医療費など (扶助費)	9万9千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	3万7千円	ローンの返済 (公債費)	2万2千円
実家からの仕送り (国・県支出金など)	8万5千円	生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	12万4千円
ローンの借入 (市債)	5千円	家の増改築、補修など (維持修理費、普通建設事業費)	5万4千円
先月の残り (繰越金)	1万9千円	家族への仕送り (繰出金、補助費)	11万8千円
合計	45万2千円	貯金、その他雑費 (基金積立金など)	1万9千円
		合計	43万6千円

※日本の一世帯当たりの平均所得月額45万2千円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考:厚生労働省「平成27年国民生活基礎調査」)